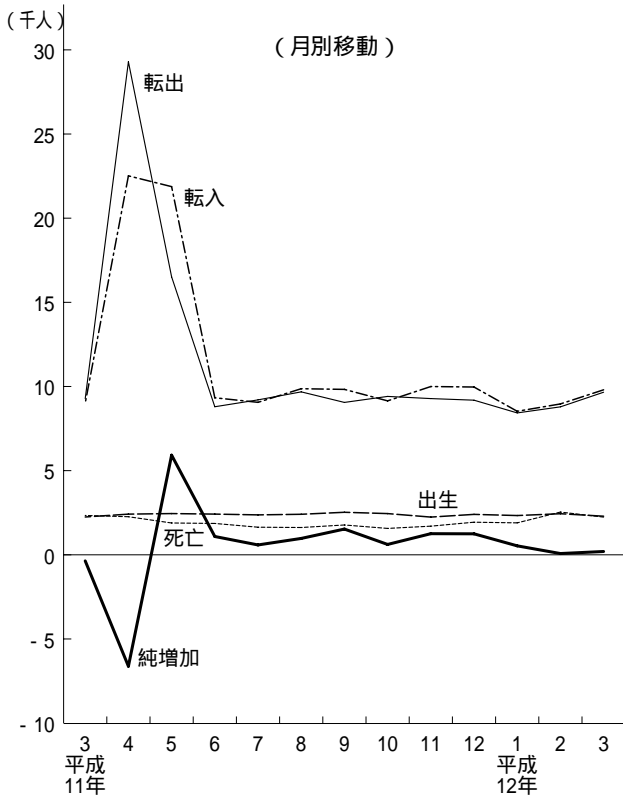


# 今月の主な動き

## 人口



### 人口 (12年3月1日)

#### 2月の概況

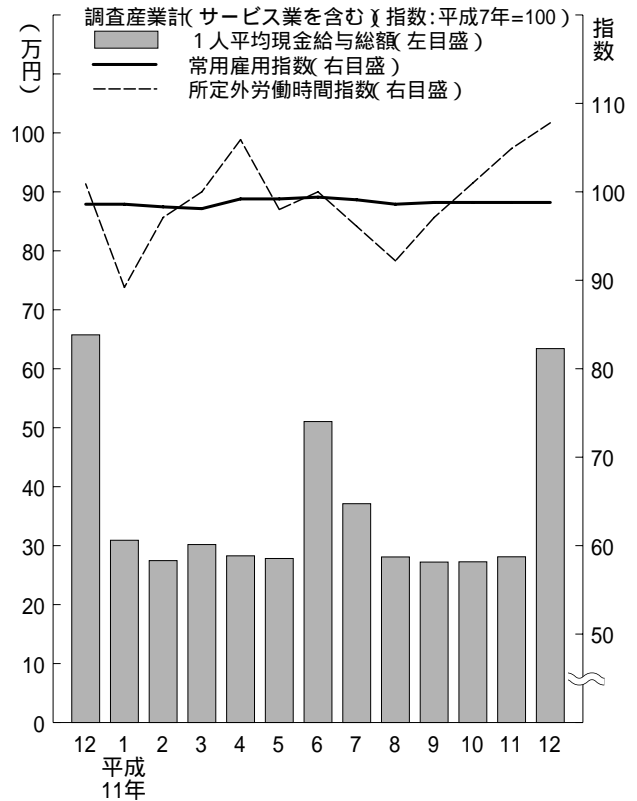
本県の人口は、2月中に197人増加し、3月1日現在で3,002,273人(男1,498,309人,女1,503,964人)となった。

内訳は、自然動態で、54人(出生2,294人,死亡2,240人)増加し、社会動態で、143人(転入9,802人,転出9,659人)増加した。前年同月と比べると7,397人(0.2%)の増加である。

市町村別では、増加が10市26町村,減少が9市35町村,増減なしが1市4町村である。

世帯数についても2月中に491世帯増加し、990,676世帯となった。

## 賃金・労働時間・雇用



### 賃金・労働時間・雇用 (11年12月)

#### 1. 平均賃金の推移

12月の現金給与総額は、調査産業計で634,160円,対前年同月比2.5%減であった。現金給与総額のうち,きまって支給する給与は273,683円,対前年同月比0.7%増であった。特別に支払われた給与は,360,477円であった。

#### 2. 労働時間

12月の総実労働時間は、調査産業計で、157.4時間,対前年同月比2.0%増であった。総実労働時間のうち,所定内労働時間は146.4時間,対前年同月比1.7%増であった。所定外労働時間は11.0時間,対前年同月比6.8%増であった。

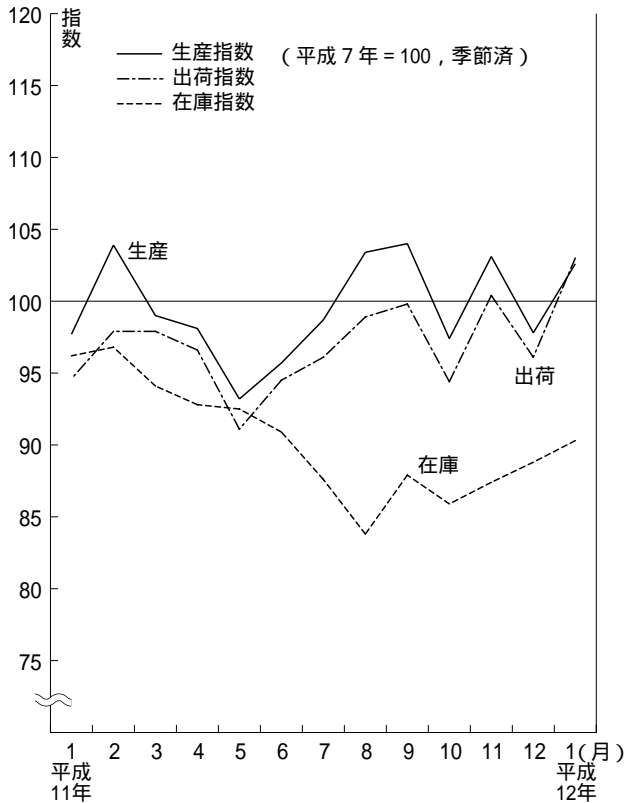
#### 3. 雇用の動き

12月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると,対前年同月比0.2%増であった。

この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお,事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数 生産・出荷・在庫

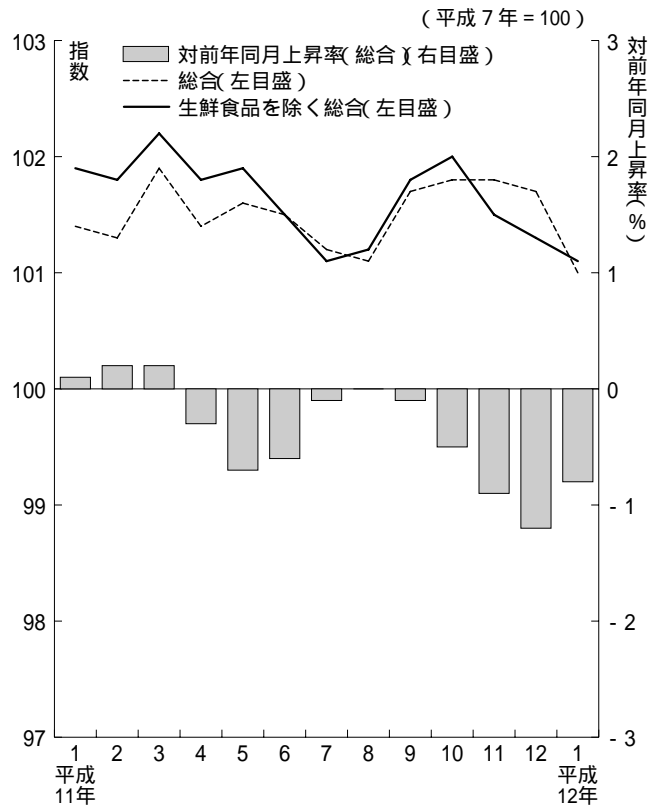


鉱工業指数 生産・出荷・在庫 (12年1月)

本県における平成12年1月の“鉱工業指数”(平成7年=100)は、季節調整済指数で、生産が102.6, 出荷が103.0, 在庫が90.3であった。

- 1 生産の前月比は4.9%の上昇, 前年同月比は5.0%の上昇であった。業種別に前月比をみると、電気機械工業、一般機械工業、その他工業等が上昇し、精密機械工業、輸送機械工業、食料品・たばこ工業等が低下した。財別にみると、耐久消費財、資本財等が上昇し、その他用生産財、鉱工業用生産財等が低下した。
- 2 出荷の前月比は7.2%の上昇, 前年同月比は8.9%の上昇であった。業種別に前月比をみると、一般機械工業、電気機械工業、鉱業等が上昇し、精密機械工業、プラスチック製品工業、輸送機械工業等が低下した。財別にみると、資本財、耐久消費財等が上昇し、その他用生産財、鉱工業用生産財が低下した。
- 3 在庫の前月比は1.7%の上昇, 前年同月比は6.1%の低下であった。業種別に前月比をみると、プラスチック製品工業、輸送機械工業、精密機械工業等が上昇し、鉱業、石油・石炭製品工業、食料品・たばこ工業等が低下した。財別にみると、耐久消費財、鉱工業用生産財が上昇し、その他用生産財、資本財等が低下した。

消費者物価指数



消費者物価指数 (12年1月)

平成12年1月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で101.1(平成7年=100)となり、対前月比は(-)0.2%下落し、対前年同月比も(-)0.8%の下落となった。

- 今月の上がった主な項目...生鮮野菜8.9%,  
生鮮果物38.2%
- 今月の下がった主な項目...洋服(-)11.8%,  
シャツ・セーター類  
(-)12.2%

生鮮食品を除く総合は101.0%となり、対前月比は、(-)0.7%下落し、対前年同月比も(-)0.4%の下落となった。

費目別指数

(平成7年=100)

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	101.1	0.2	0.8	保健医療	111.8	0.2	0.2
食料	102.2	1.3	1.9	交通通信	97.5	0.1	0.2
住居	101.7	0.0	0.1	教育	108.3	0.0	0.8
光熱・水道	101.5	0.3	0.2	教養娯楽	98.2	0.0	0.9
家具・家事用品	94.7	0.7	1.4	諸雑費	102.3	0.1	0.4
被服及び履物	99.5	8.0	2.5	生鮮食品を除く総合	101.0	0.7	0.4